平成29年度
福岡市博物館事業報告

福岡市博物館
Fukuoka City Museum

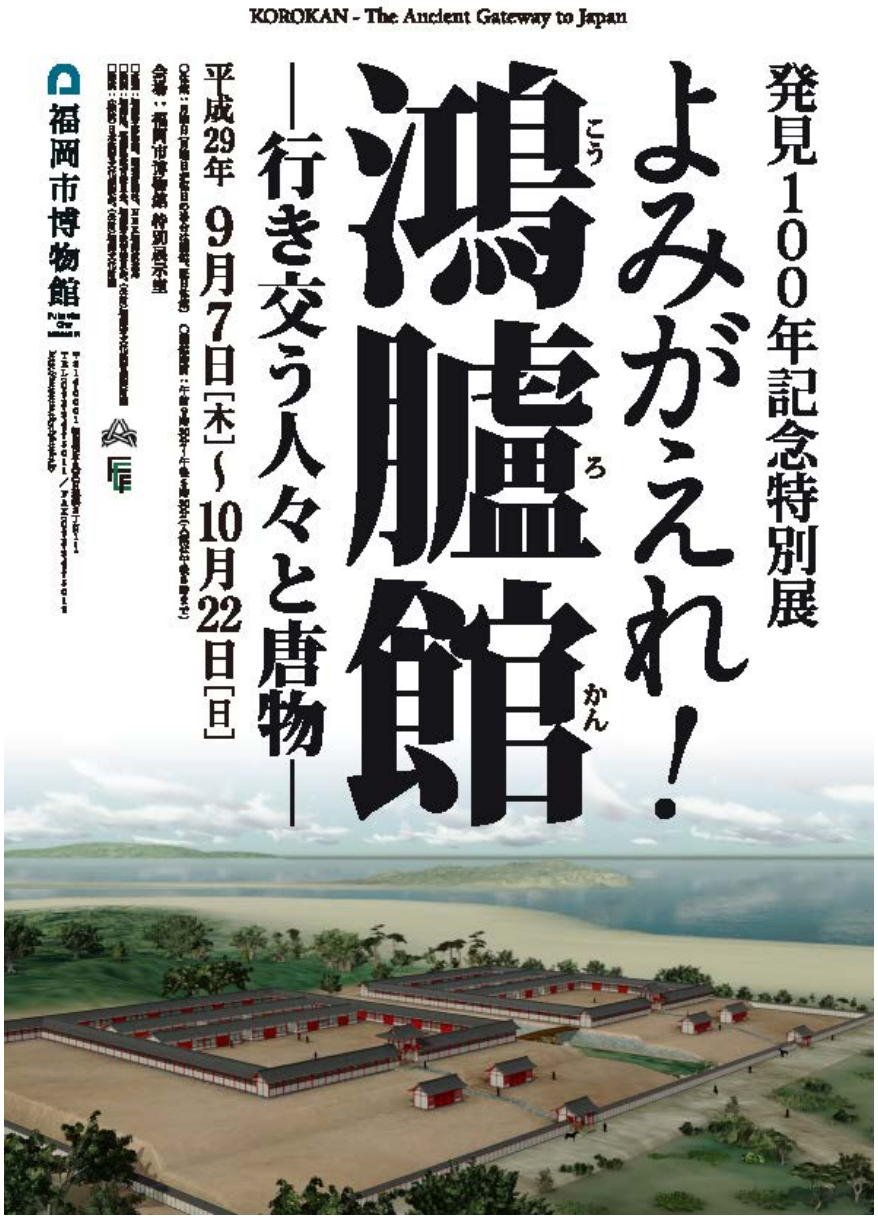
１．特別展
自主企画

よみがえれ！鴻臚館
-行き交う人々と唐物-

９月7日(土)～10月22日(日)

観覧者数：11,952人

関連イベント：
　五感で楽しむ関連イベントを開催
　（古代衣装ファッションショーなど）



1．特別展
自主企画

-五感で楽しむ関連イベントを開催-

１．特別展
自主企画

新春特別企画展
黒田家の刀剣と甲冑展

1月7日(日)～2月12日(日・祝)

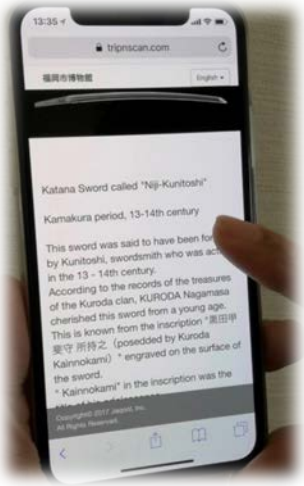
観覧者数：14,693人

１．特別展
自主企画

外国人をターゲットにした広告（FUKUOKA NOW）

※鴻臚館展、常設展でも広告を掲載

QRコードを活用した展示解説情報サービス(日英中韓)



※中国語は
簡体字・繁体字両方

1．特別展
自主企画

第29回新収蔵品展

ふくおかの歴史とくらし

1月7日(土)～2月12日（月・祝）

博物館開館準備室から続く、寄贈者と博物館をつなぐ重要な事業。資料収集件数は、累計約13万件にのぼる。

感謝状贈呈式及び目録発行

1．特別展
共催・企画

世界遺産 ポンペイの壁画展

4月15日(土)～6月18日(日)

観覧者数：61,723人

関連イベント：
メルカートイタリアーノ

１．特別展
共催・企画

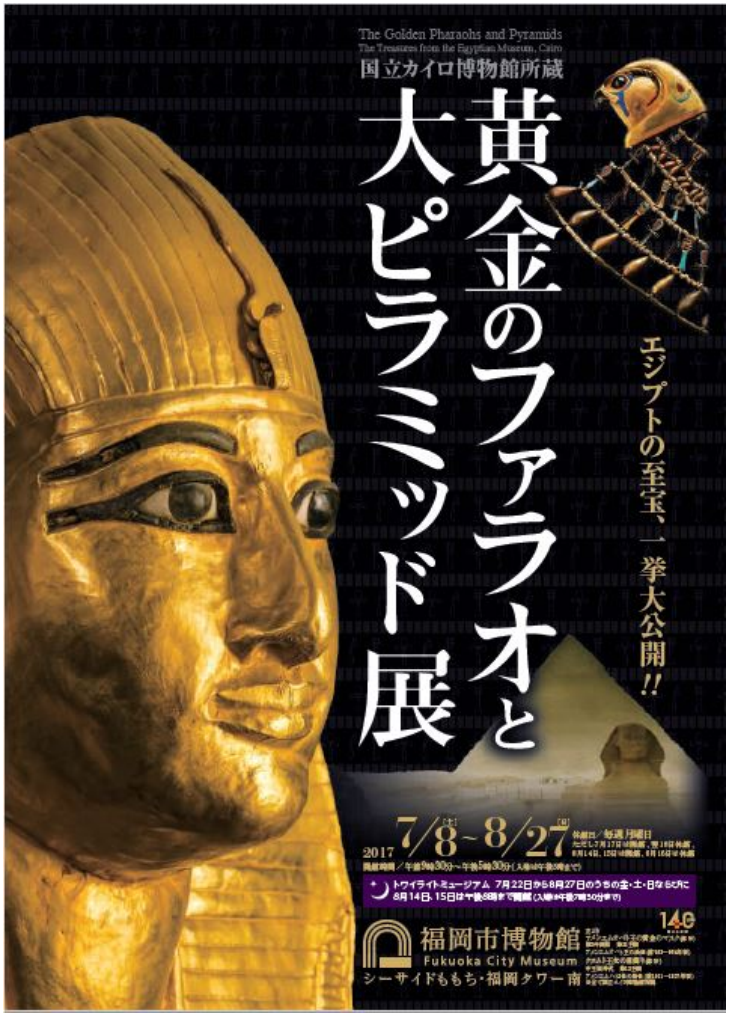
黄金のファラオと大ピラミッド展

7月8日(土)～8月27日(日)

観覧者数：83,386人

関連イベント：
ナイトミュージアムツアー
2日間　　約400人参加

吉村作治講演会　240人　など



1．特別展
共催・企画

神聖ローマ帝国皇帝 ルドルフ2世の驚異の世界展

11月3日(金・祝)～12月24日(日)

観覧者数：31,427人

関連イベント：
フラワーライブパフォーマンス　190人

プラネタリウム
「ルドルフ2世が見たプラハの夜空」298人

など

１．特別展
貸館

リカちゃん展

2月22日(木)～3月28日（水）

主催：
テレビ西日本
西日本新聞社
東映

観覧者数：37,173人
(3月20日現在)

2.企画展示
（4つの企画展示室）

市美×市博　黒田資料名品展シリーズなど
年間24もの多様な展示を企画

国宝 刀 名物「圧切長谷部」展示
平成30年1月5日（金）～2月4日（日）

期間中の**企画展示室観覧者数　15,964人**
（前年に続き、全国各地、海外からも多数来館）

2.企画展示
（4つの企画展示室）

人気ゲーム　刀剣乱舞-ONLINE-とのコラボグッズを販売

開館前のグッズ購入者、観覧者の列

国宝と記念撮影ができるフォトブース

3.教育普及プログラム

教育普及専門員3名、教育普及担当主査を配置し、各種プログラムを実施

博物館体験学習事業（小中学校）

小中学校、特別支援学校を対象に博物館にて学習事業を実施。地域の歴史遺産に関連した常設展示も紹介。（29年度 小学校 6校 375名、中学校 3校 336名）

出前学習事業（小学校）

博物館から講師を派遣し、歴史学習の一環として「体験重視」の出前授業を実施。
封泥体験、勾玉づくり等（29年度 82校　7,259名）

こども博物館

夏休み、冬休み、春休みに、小学生等対象に、金印レプリカを使った封泥体験を実施（8月9･10日　234名、12月23日　87人、３月24日）

４．その他

トワイライトミュージアム

夏休み期間（7/22（土）～8/27（日））の金･土･日、8/14（月）,15（火）は20時まで開館延長。利用しやすい時間帯に変更し、利用者が増加。

５．新たな取組み

文化芸術振興費補助金（国・文化庁）の活用

「博多湾岸《金印ロード》ツーリズム・プロジェクト」

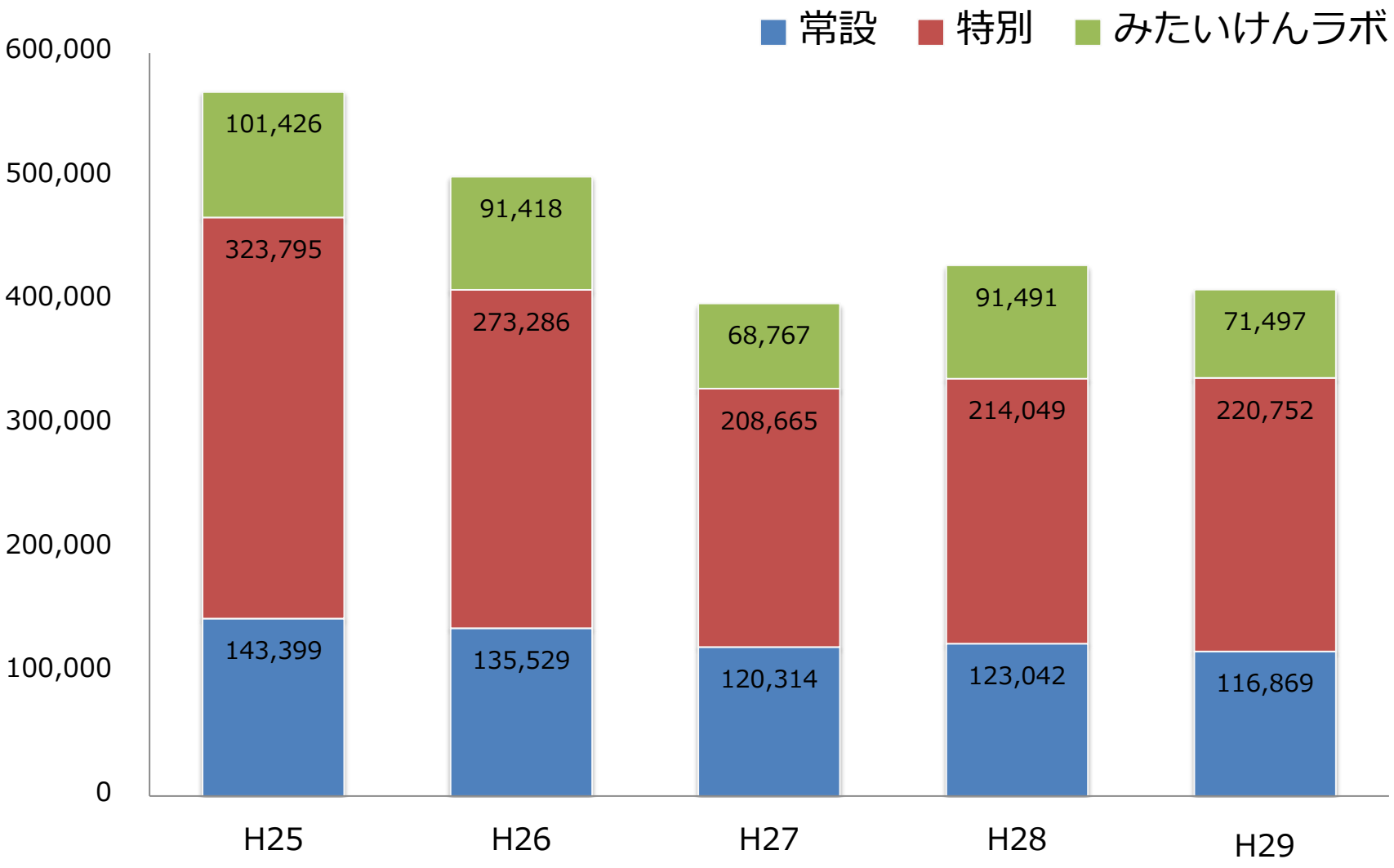
５つの構成事業

【観光振興】　ツーリズム・スタートアップ
【多言語化】　多言語インターフェース戦略
【地域】　しまとやまの魅力が活きる
【グローバル】　ユニバーサルツーリズムを育む
【新たな機能】　地域の記憶と記録のIT資源化

博多湾岸 金印ロード

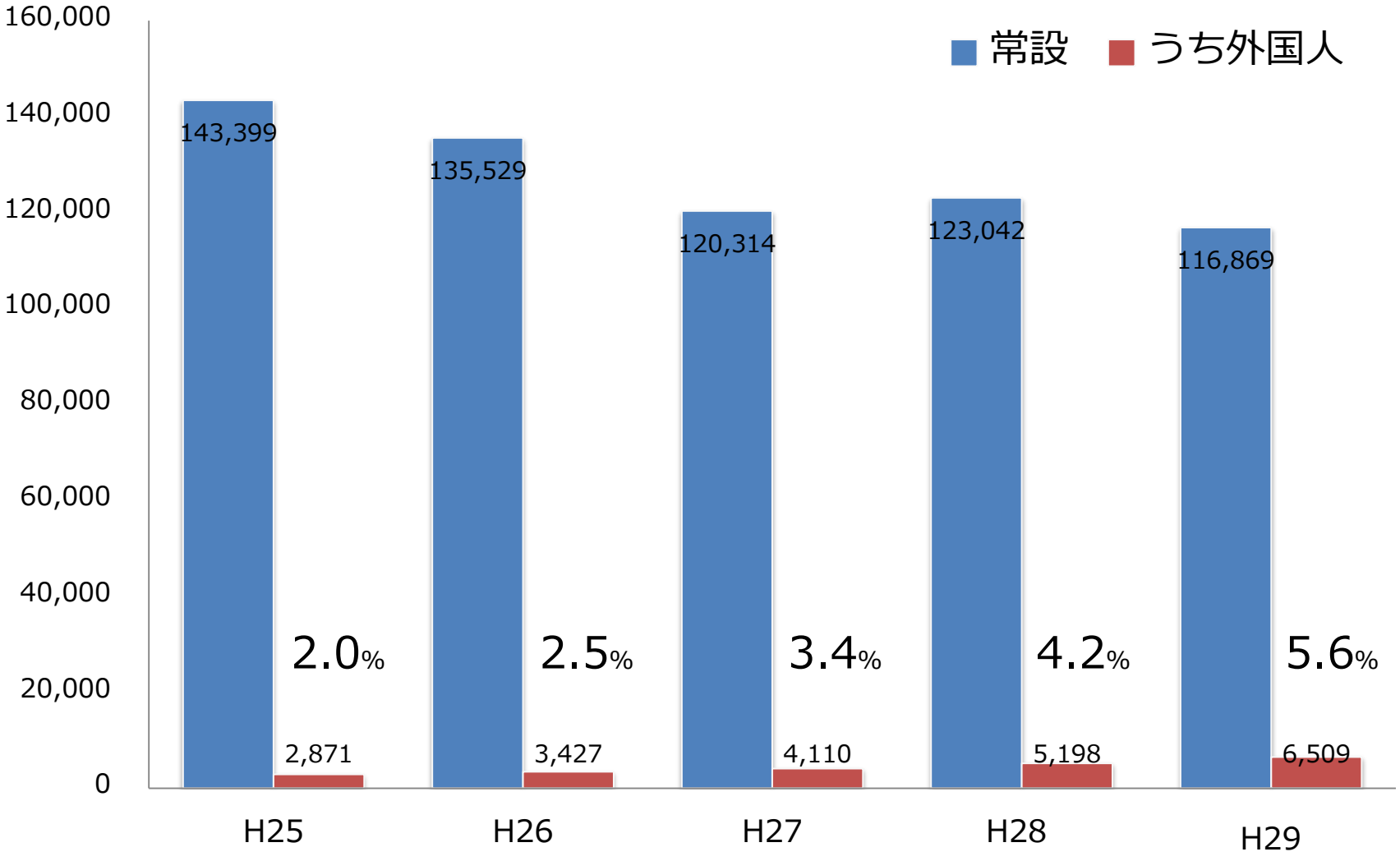
詳細は別紙にて報告します

福岡市博物館利用者数推移



(3月18日現在)

福岡市博物館　常設展利用者数推移



（3月18日現在）